

ダイバーシティウィーク 2025

講演会&トークセッションに関するアンケート結果（感想の概要）

開催日：令和7年7月1日（火）午後1時25分～午後3時10分

会 場：日本大学商学部3号館2階講堂

内 容：星野ルネ氏による講演会「アフリカ少年と考える、これからの日本のダイバーシティ」及びトークセッション

参加者：学生，教職員等280名（アンケート回答者：92名）

講演会やトークセッションに関する感想について（アンケートから抜粋）

- ・多様性の海が深すぎるという表現が良かったです
- ・文化的な背景の違いから差別や偏見が生まれること、また、自身が何者なのかという感情は誰にでもあるのだと理解できた。
- ・人に迷惑をかけること考え方の違いについてのクロストークが印象に残りました。日本では迷惑をかけないことを前提にしているので自分の主張がしにくい社会になってしまっていると思います。今回のトークセッションを聞いて、迷惑をかけてもいいと思う考えの人は器が広い人が多いと感じました。自由を犯す多様性はあってはならないという話も興味深かったです。
- ・ステレオタイプにとらわれすぎてはいけないということが改めて分かりました。色々な視点が必要なんだと感じました。
- ・外国の方との価値観のズレがあるのは認識していましたが、墓の話や、日本人の遠回しの表現についてなど面白く興味深い実例が多かった。
- ・特に印象に残ったのは、あまりよく知らない人には思いやりを持ちづらいが、一緒に過ごすことで、知らない外国人が既知の友人へと変わっていくというお話です。これは、国籍に限らず、日本人同士でも同じことが言えると思い深く共感しました。実際に会話をしたり、時間を共有したりすることでその人の個性や考え方を知り、自然と理解や共感が生まれてくるのだと思いました。
- ・見目や出身ではなく、一人ひとりの背景や思いを理解しようとする姿勢が、これからの日

本にとって本当に大切なのだと感じました。

- ・トークセッションが良かったです。自分と同じ歳くらいで色々な経験をした人がいて、刺激的でした。

- ・差別や偏見について抽象的に述べられることが多い世の中で今回は実際の経験をもとに具体的に述べられていてより身近に感じる事ができた。

- ・日本の空気を読むというものが日本特有なことを初めて知りました。

- ・改めて多様性について、学び、考える良い機会となりました。

- ・特に印象に残ったのは、日本独特の「空気を読む」文化についてのお話でした。自分にとっては当たり前だったことが、実は他の国では通用しないこともあり、文化によって常識が大きく異なることに気づかされました。また、「お墓で遊ぶ」という行動に対する受け取り方が国によって全く違うという話からも、行動の意味は文化や背景に深く結びついているのだと実感しました。さらに、「黒人は足が速い」といったステレオタイプに、私自身も無意識に影響を受けていたことに気づき、反省しました。見方を少し変えるだけで、ネガティブに思っていたことが前向きに捉えられるようになり、多様性を理解するためには、柔軟な視点を持つことが大切だと感じました。